

自昭和二十年五月十五日
至昭和二十年五月三十日

戦闘詳報第一號
中支海軍航空隊

一 計畫

(一) 任務企圖

戦闘機隊

機密支方艦(附)命令第一五三號(別紙第一)に依り戦闘機
乙隊一隊ヲ龍華航空基地ニ配備上海附近要地防空ニ
任スル外指揮官所定ニ依リ船團上空警戒ニ
敵攻撃ニ任ズ

哨戒機隊（東海隊及水偵隊）

機密支方艦（附）命令第五三號ニ依リ東海三分二隊ヲ

成基地水偵半隊ヲ舟山島航空基地ニ配備機密支方

艦（附）命令第五三號（別紙第三）ニ依リ上海方面根據地隊

司令官協議ニ應ジ主トシテ海上護衛作戰ニ任スル外特令ニ

依リ機密支方艦命令作第三號ニ依ル中支方面飛行哨

戒ニ任ズ

ニ作戰準備

各基地戰備作業ヲ促進被害局減對策ヲ講ジ在支

米空軍並ニ敵機動部隊ノ大舉來襲ニ對シ準備萬

全ヲ期スルト共ニ水偵隊全機ニ特別爆裝工事ヲ施工

完了シ敵上陸作戰ニ對處ニ在リ

別紙第一

機密支那方面艦隊附命令第五三號

昭和二十五年五月十五日

支那方面艦隊司令長官 福田良三

支那方面艦隊命令

一 支海軍航空隊兵力配屬基地、左通定

六基地 東海 輸送機 白菊(貸)

九〇機練(特攻)

龍華基地 戦闘機

舟山島基地 偵

二 各基地指揮官、支海軍航空隊司令所定トス

別紙第ニ

機密支那方面艦隊(附)命令第ニ八號

昭和二十年五月二十九日

支那方面艦隊司令長官 福田良三

梅崎中支海軍航空隊司令命令

貴官へ上海方面根據地隊司令官ノ協議ニ應ジ海上護衛
作戰ニ協力スベシ

2007

1691

別紙第三

機密支那方面艦隊命令作第三號

昭和三年五月二十六日

支那方面艦隊司令長官

福田良三

支那方面艦隊命令

中支方面飛行哨戒實施要領ヲ別紙通リ定ム

機密支那方面艦隊命令作第三號別紙

中支方面飛行哨戒實施要領

3

1000

一哨區及呼稱法

(C _T) 定海					(C _S) 戎			基突	
(C _T) 9	(C _T) 8	(C _T) 7	(C _T) 6	(C _T) 5	(C _S) 3	(C _S) 2	(C _S) 1 哨成線	名	稱
一八五度	一七〇度	一五五度	一四〇度	一二五度	一二五度	一一〇度	九五度	基突ヨ方位	哨
"	"	"	"	"	"	"	左折三〇哩	側	戎
二〇〇哩	"	"	"	"	"	"	二五〇哩	程	線
水偵五機					東海三機			使用機種	

二 哨戒法區分

哨戒法	要旨	哨戒要領	記事
甲哨戒法	早朝發進成可速ニ先端ニ到達スル如ク哨戒ス	發進時刻ヲ日出約一時間前トシ電探利用ヲ建前トス 一日一回哨戒トス	持合ナケレバ乙哨戒法トス
乙哨戒法	日没時頃先端ニ達スル如ク哨戒ス	日没時頃先端ニ到達スル如ク發進ス 一日一回哨戒トス	
丙哨戒法	早朝發進ニ刻先端ニ到達スル如ク一日二回哨戒ス	甲哨戒法ニ哨戒法要領ニ依リ一日二回哨戒ス	
丁哨戒法	夜間電探ニ依リ哨戒ス	日没時以後發進ニ夜間電探利用ニ依リ哨戒ス 一日一回哨戒トス	

三哨戒配備區分

第三哨戒配備	第二哨戒配備	第一哨戒配備	哨戒配備
符令明區哨戒	(S) 2, 3 (T) 5, 6, 7 左哨區哨戒	(S) 1, 2, 3 (T) 5, 6, 7 全哨區哨戒	哨戒哨區
<p>一、發動時期ハ本職之ヲ令ス 二、哨戒配備以哨區變更ハ其 都度示令ス</p>			哨戒要領

四 發見報告

發進基突ヨリ方位距離ヲ以テ示スヲ原則トス
基突略語

戌 S

定海下

(例) 敵大部隊見上(リサ乙所定暗號) S 一〇五 二七〇

(敵大部隊見上上海一〇六度二七〇理)

錯誤ノ虞ニテ時々基突略語ヲ省略スルモノトス

五 通信連絡

(イ) 使用暗號書リサ乙

(ロ) 通信

969T

969T

(一) 第一法 (統一通信)
電波 五・五 KC
統一基地 成基地
(二) 第二法 (待合=依ル)
各基地固有通信=依ル

(終)

145